

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特許公報 (B2)

(11) 特許番号

第2845183号

(45) 発行日 平成11年(1999)1月13日

(24) 登録日 平成10年(1998)10月30日

(51) Int.Cl.
H 01 J 11/02
11/00

識別記号

P 1
H 01 J 11/02
11/00

B
K

請求項の数3(全5頁)

(21) 出願番号 特願平7-272461
(62) 分割の表示 特願昭63-304509の分割
(22) 出願日 昭和62年(1987)11月30日

(65) 公開番号 特開平8-102261
(43) 公開日 平成8年(1996)4月16日
審査請求日 平成7年(1995)10月23日

(73) 特許権者 000005223
富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1
番1号
(72) 発明者 南都 利之
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内
(72) 発明者 篠田 ▲伝▼
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内
(74) 代理人 弁理士 弁橋 貞一

審査官 小川 浩史

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ガス放電パネル

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガス放電空間を介して対向する少なくとも片方が透明な一对の基板上に、維持放電を発生する放電維持電極対と、該放電維持電極対と対向して書き込み放電を発生する書き込み電極とを備える3電極面放電型のカラー表示用パネル構成において、

観察面側に位置する前記透明な一方の基板上に前記放電維持電極対を配設し、背面側に位置する前記他方の基板上に、前記放電維持電極対間の放電により発光する発光体

2

板を通して観察し得るようにしたことを特徴とするガス放電パネル。

【請求項2】 前記書き込み用金属材料層は、放電維持電極対の面放電間隙から離れた電極側縁部に設けられていることを特徴とする請求項1記載のガス放電パネル。

【請求項3】 前記放電維持電極対を構成する透明導電膜は、相互に近接対向する突起部を有し、その近接対向する突起部により放電維持セルが構成されることを特徴